

令和4年度進行管理・評価シート
高山市 歴史的風致維持向上計画（平成30年3月26日認定）
（最終変更 令和3年2月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画との連携	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的建造物活用整備事業	3
2 歴史的町並保存事業	4
3 景観重要建造物等修景事業	5
4 伝統構法木造建築物耐震化事業	6
5 無電柱化等事業	7
6 町並み景観保全事業	8
7 屋台保存事業	9
8 伝承芸能保存事業	10
9 郷土の歴史・文化の語り部育成事業	11
10 伝統行事担い手支援事業	12
11 文化遺産・地域資源活用調査事業	13
12 町並み歩行空間創出事業	14
13 スポット整備事業	15
14 まちの博物館外国語対応事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の指定等	17
2 文化財の修理事業、周辺環境の整備事業等	18
3 文化財に関する普及・啓発の取組等	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 新聞報道	20
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光客等の回遊性の向上	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	22
-------------------------	-------	----

評価軸1-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度
計画の推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 計画の推進にあたっては、都市計画課と文化財課が事務局を務め、各事業の実施については、各事業担当課と連携調整を行うとともに、文化財所有者や周辺住民、関係団体や事業者等と協議・調整を行うものとする。また、必要に応じて国や岐阜県、各審議会と協議を行い、助言や支援を得るとともに、法定協議会である高山市歴史的風致維持向上計画協議会において、計画の推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

都市計画課と文化財課の連携の下、計画の推進を図った。
 各事業の検討においては、事業所管課を中心に関係各課との連携を図るとともに、地元住民や関係団体等と意見交換を重ね、事業の推進を図った。住民等との意見交換により、事業に対する地元の理解を深めることができた。
 計画の進行管理・評価においては、令和4年度進捗評価を実施し、その評価結果について法定協議会である「高山市歴史的風致維持向上計画協議会」から意見聴取を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



高山市歴史的風致維持向上計画協議会の様子

■法定協議会への協議状況

○高山市歴史的風致維持向上計画協議会
 開催日 令和5年5月9日
 開催場所 高山市役所 会議室
 (議題)
 ・令和4年度進行管理・評価について



第2回文化財審議会の様子

■関連審議会への協議状況

○高山市文化財審議会
 【第1回】
 開催日 令和4年7月7日
 開催場所 飛騨高山まちの博物館研修室
 (議題)
 ・市指定天然記念物の指定解除について
 ・「洲さき」の重要文化財(建造物)指定について
 【第2回】
 開催日 令和5年2月20日
 開催場所 飛騨高山まちの博物館研修室
 (議題)
 ・市指定天然記念物の指定解除について
 ・文化財保存活用地域計画について
 ・伝統的建造物群保存地区拡大事業について
 ・「洲さき」の重要文化財(建造物)指定について
 ・天然記念物の保護事業について

評価軸2-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 特に重点的に良好な景観づくりを推進する区域については、「景観重点区域」として指定し、建築物、工作物、屋外広告物などについて、色彩、形態意匠、高さ、大きさなどの基準を設け、地域の特性に応じた景観づくりを推進している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画により、景観重点区域ごとに建築物、工作物及び屋外広告物等について基準を設け、地域の特性に応じた景観づくりを推進した。また、各種助成制度を設けることにより、良好な景観形成を促進した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



新たに設置された看板

修景前

修景後



助成制度により修景された建造物

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的建造物活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	歴史的建造物の保存・活用を図るため、空き家となった町家等を取得又は借上げのうえ修理・修景を行い、地域の歴史的風致の核となる施設として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
空き家となった大正時代の町家(旧大政)について、飛騨高山にぎわい交流館「大政」として整備を行い、令和4年4月に供用を開始して以降、住民の町並み形成活動や交流等の拠点として活用され、中心市街地の回遊性の向上とにぎわいの創出が図られた。 <input type="checkbox"/> 令和4年度実績 ・入館者数 8万人			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



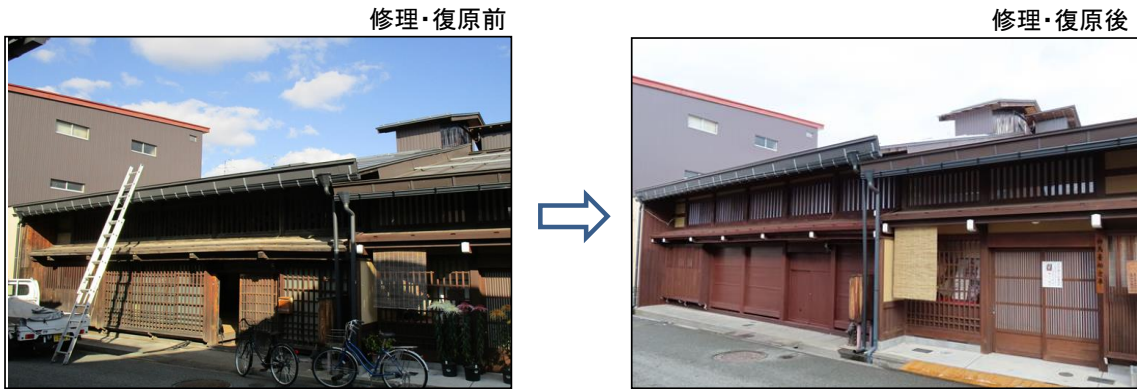
整備後の利用状況

評価軸3-1

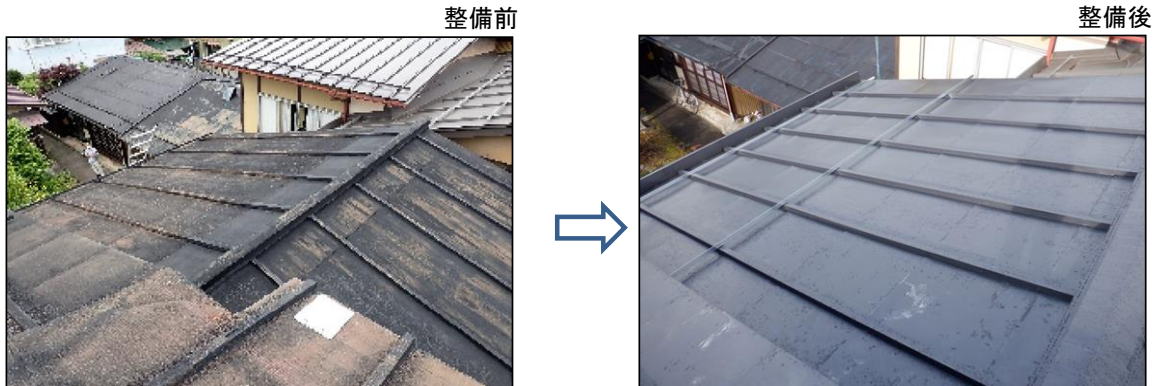
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
歴史的町並保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和54年度～令和6年度		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存事業		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の修理及び外観の修景、防火対策に要する経費の一部を助成することにより、歴史的な建造物の保存を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要伝統的建造物群保存地区内の建造物の計画的な修理・修景を実施することにより、建造物の適切な保存や町並の景観保全を図ることができた。また、防火帯としての土蔵を整備し、地区内における防火帯維持を図ることができた。 <input type="checkbox"/> 令和4年度実績 ・伝統的建造物群保存地区保存修理事業 修理補助:5件(修理:5件、修景:0件) ・伝統的建造物群保存地区防災対策事業 整備補助:6件 ・高山市政記念館耐震補強工事(第1・2期)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



伝統的建造物群保存地区保存事業により修理・復原が行われた物件



伝統的建造物群保存地区防災対策事業により整備が行われた物件

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
景観重要建造物等修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉

計画に記載している内容 景観重要建造物の外観を維持するために必要な修理や修景に要する経費の一部を助成することにより、まちの景観形成の核となる建造物の保全を図る。
市街地景観保存区域内において行われる建築物の新築・修理等の行為が、伝統的な意匠を基本とした一定の基準を満たす場合に、当該行為に要する経費の一部を助成し、町並み景観の保全を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

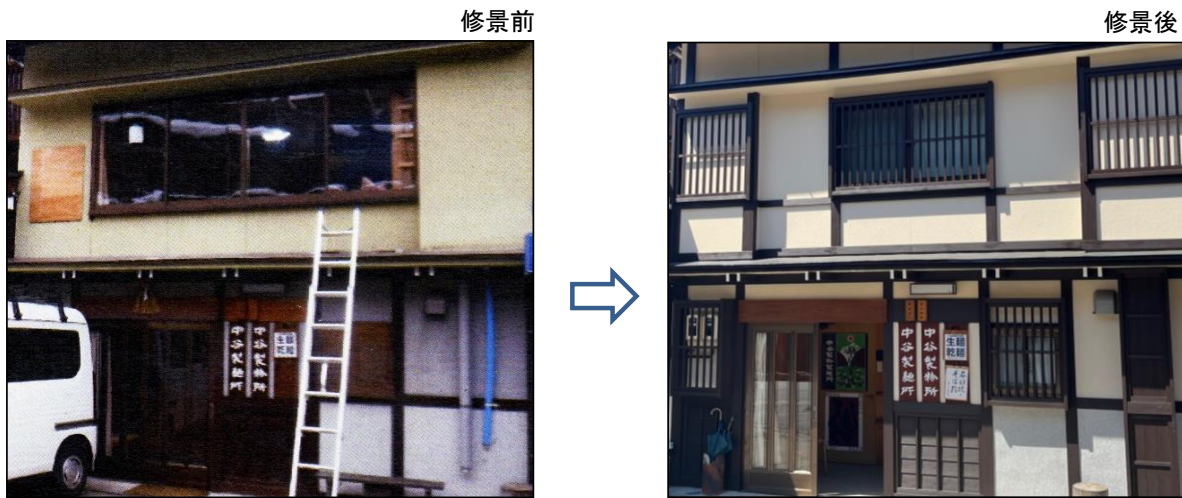
景観重要建造物の外観を維持するために必要な修理、市街地景観保存区域内の建造物における一定の基準を満たす建築行為に対して助成を行った。歴史ある建造物の維持保全にかかる所有者の経済的負担を軽減するとともに、建造物の形態や意匠等の無秩序な変更を防ぐことにより、周辺の景観と調和した趣のある町並みが保全された。

- 令和4年度実績
- ・景観重要建造物修景事業補助 重点区域内:0件(R3:計1件)
 - ・市街地景観保存区域建造物修景事業補助 重点区域内:4件(R3:5件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



市街地景観保存区域建造物修景事業により修景が行われた建造物

格子の新設、付梁、付柱等、町家形式の修景工事を行った

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
伝統構法木造建築物耐震化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和6年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 建築基準法施行前に建築された木造建築物は、現在の建築基準法に基づく耐震診断を行った場合、耐震性が非常に低いという結果が出てしまうが、反面、柔らかさや粘り強さがあるという特徴があることから、その特徴に応じた耐震診断や耐震改修工事を行うための「高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル」を平成25年度に作成した。このマニュアルに基づいて行われる、伝統的な木造建築物の耐震診断や耐震改修工事に対して補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度に作成した「高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル」に基づいて行われた、伝統的な木造建築物の耐震診断や耐震改修工事に対して、補助事業を実施した。5月には建築士事務所協会と連携して、建築士を対象とした研修会を開催した。
 令和4年度は補助申請はなかったが、耐震性の向上により、継続的に居住できる環境と伝統的な建造物の維持の推進に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



研修会の様子(令和4年5月19日)



荒壁パネル設置、柱新設



補強金物取付、柱新設、土台構造用合板貼付

現行の建築基準により耐震改修を行うと歴史的な建築物の形態・意匠を維持できないことが多い
 上の写真は、耐力要素のない箇所に、金物や耐力壁を設け、形態・意匠の維持と柔らかく粘り強い
 伝統構法木造建築物の特性に応じた耐震改修を行っている

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
無電柱化等事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和6年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉

計画に記載している内容 高山駅方面から三町伝統的建造物群保存地区や飛騨高山まちの博物館へつながる通り等において、伝統的な町並み景観の再生を図るため、景観を阻害している電線等を地中化するとともに、車道・歩道・側溝等について景観に配慮した整備を行う。

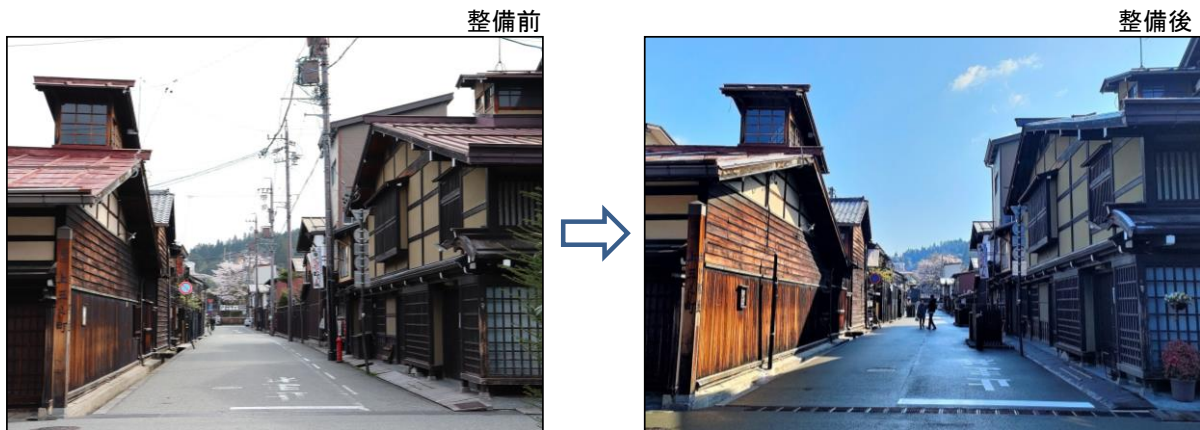
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道上一之町花里線の計画区間660mのうち、三町伝統的建造物群保存地区の区間190mについては入線抜柱工事および道路修景工事が完了した。駅側の160mについては引込設備工事まで完了し、入線抜柱工事に着手した。中間区間310mについては、令和4年度電線共同溝本体工事に着手し、180m工事が完了した。引き続き、残りの130mについて電線共同溝本体工事を進め、引込設備工事を進める。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



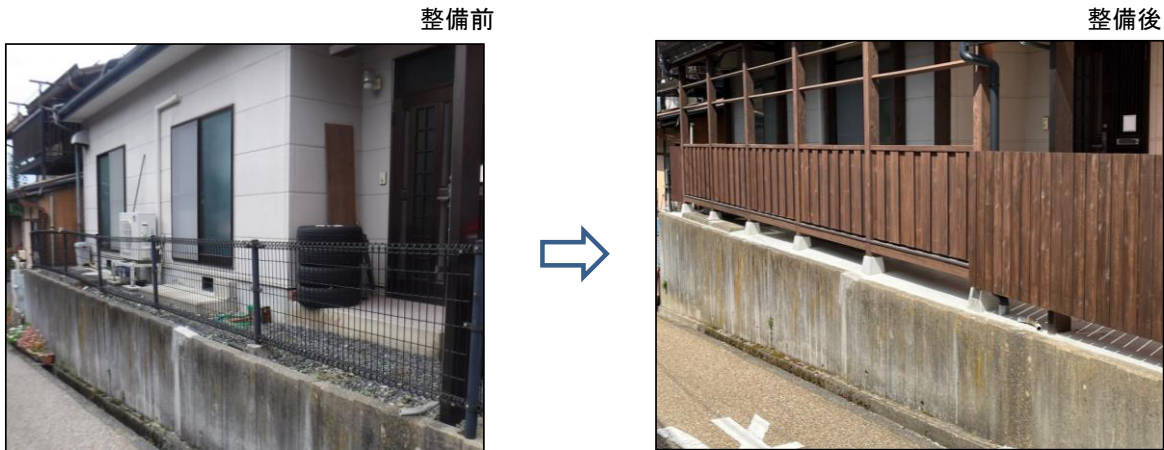
市道上一之町花里線(三町伝統的建造物群保存地区)

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
町並み景観保全事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和6年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉		
計画に記載している内容	良好な町並み景観の創出を促進するため、景観に配慮した形態意匠の看板を設置する場合や、板塀や生け垣を設置する場合等に補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高山の景観にふさわしい看板の設置やふさわしくない看板の撤去、生け垣や板塀等の設置に対し助成を行った。広報紙やホームページ等様々な媒体を通じ助成制度の周知に努め、町並みにおける良好な景観の形成に寄与した。 <input type="checkbox"/> 令和4年度実績 ・看板設置及び撤去補助 重点区域内:3件 重点区域外:1件(R3:計8件) ・生垣設置補助 重点区域内:0件 重点区域外:2件(R3:計2件) ・塀等設置補助 重点区域内:2件 重点区域外:2件(R3:計39件) (塀等設置補助について、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済対策として特例措置を行ったため、例年より多数の申請があった)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



塀等設置補助金の活用により新設された塀

既存のフェンスを、景観にふさわしい板塀とした

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
屋台保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 屋台修理: 昭和39年度～令和6年度
保存活動への助成: 平成2年度～令和6年度

支援事業名 屋台修理: 重要有形民俗文化財修理、防災事業
保存活動への助成: 市単独事業

計画に記載している内容 非常に価値の高い意匠を持つ高山祭の屋台の保存管理については、専門的な技術による管理やからくりの伝承等が不可欠であるとともに、屋台の修理には多額の資金が必要である。必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、屋台修理・屋台蔵修理を計画的に実施するとともに、屋台の保存に関わる団体の活動に対して助成を行い、屋台の保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高山祭屋台の保存修理事業を行い、将来への屋台の継承に寄与した。
令和4年度実績
 ・仙人台、恵比須台修理
 高山祭屋台の保存防災施設である屋台蔵の修理を実施し、防災・防犯の機能を回復させた。
令和4年度実績
 ・恵比須台屋台蔵修理
 高山祭の屋台を保存する活動を行う団体や修理技術者の育成事業に対して助成を行ったことにより、屋台の保存や修理技術の継承に寄与した。
令和4年度実績
 ・高山祭屋台管理費補助金: 1件 (高山屋台保存会)
 ・からくり屋台管理技術伝承保存補助金: 1件 (高山屋台保存会)
 ・高山祭屋台保存技術伝承保存補助金: 1件 (高山・祭屋台保存技術協同組合)
 ・高山祭屋台保存技術研修事業費補助金及び技術修得補助金: 4件

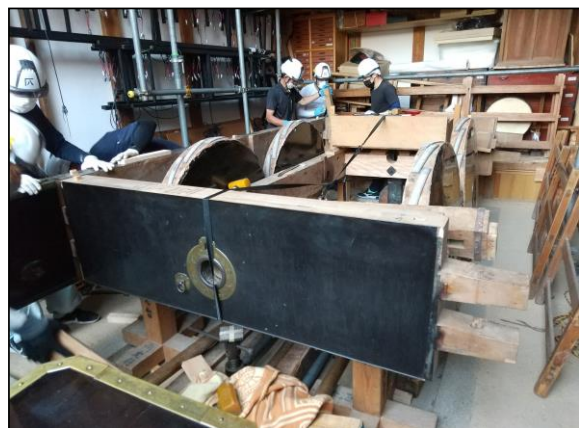
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



仙人台 胴幕修理



恵比須台 解体修理

評価軸3-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度																						
項目		現在の状況																							
伝承芸能保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																							
事業期間	平成2年度～令和6年度																								
支援事業名	市単独事業																								
計画に記載している内容	市内各地で行われている伝承芸能、祭礼活動等は、そこに住む人々の教養や娯楽、環境等から生まれた特有の文化であり、地域の誇りである。しかし、近年、後継者の不足や保存会活動費の不足等で伝承していくことが困難となっている。これらの保存活動に対して助成を行うとともに、記録映像を作成し後継者育成に活用することで、後世への継承を図る。																								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																									
地域の伝承芸能の保存団体に対して活動助成を行ったことにより、伝承芸能の継承に寄与し、地域の誇りの醸成に貢献した。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により伝承芸能、祭礼等の活動に制限があったが、関係者と情報共有を図る等維持、継承に努めた。 <input type="checkbox"/> 令和4年度実績 ・伝承芸能保存団体補助金:16件																									
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																								
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	伝承芸能を発表する場として芸能フェスティバル等の開催の要否について、関係者に意見聴取しながら検討する。																								
状況を示す写真や資料等																									
■ 伝承芸能保存団体 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tbody> <tr><td>高山市子供伝承芸能連合保存会</td><td>ひねりの舞保存会</td></tr> <tr><td>岩滝民謡保存会</td><td>荘川民謡保存会</td></tr> <tr><td>飛騨総社親子獅子舞保存会</td><td>金桶金蔵獅子保存会</td></tr> <tr><td>高山民謡保存会</td><td>荒城神社無形文化財保存会</td></tr> <tr><td>下切町金蔵獅子保存会</td><td>上広瀬金蔵獅子保存会</td></tr> <tr><td>飛騨東照宮おかめ舞獅子舞保存会</td><td></td></tr> <tr><td>飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会</td><td></td></tr> <tr><td>千島白山神社獅子舞保存会</td><td></td></tr> <tr><td>錦山神社徳兵衛獅子舞保存会</td><td></td></tr> <tr><td>新宮町伊勢神楽保存会</td><td></td></tr> <tr><td>宗和流四常社</td><td></td></tr> </tbody> </table>				高山市子供伝承芸能連合保存会	ひねりの舞保存会	岩滝民謡保存会	荘川民謡保存会	飛騨総社親子獅子舞保存会	金桶金蔵獅子保存会	高山民謡保存会	荒城神社無形文化財保存会	下切町金蔵獅子保存会	上広瀬金蔵獅子保存会	飛騨東照宮おかめ舞獅子舞保存会		飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会		千島白山神社獅子舞保存会		錦山神社徳兵衛獅子舞保存会		新宮町伊勢神楽保存会		宗和流四常社	
高山市子供伝承芸能連合保存会	ひねりの舞保存会																								
岩滝民謡保存会	荘川民謡保存会																								
飛騨総社親子獅子舞保存会	金桶金蔵獅子保存会																								
高山民謡保存会	荒城神社無形文化財保存会																								
下切町金蔵獅子保存会	上広瀬金蔵獅子保存会																								
飛騨東照宮おかめ舞獅子舞保存会																									
飛騨天満宮徳兵衛獅子舞保存会																									
千島白山神社獅子舞保存会																									
錦山神社徳兵衛獅子舞保存会																									
新宮町伊勢神楽保存会																									
宗和流四常社																									
																									
近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会への参加(高山民謡保存会)																									

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
郷土の歴史・文化の語り部育成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和6年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 多くの市民が郷土の歴史・文化を語るができるよう、高山市が認定する歴史ガイドマスターが講師となり、市民による「語り部」を育成することで、後世への継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高山の歴史・文化・自然・ガイド技術等について学ぶ、語り部養成講座を開催した。参加した市民、ガイドボランティア、観光業者等の方々は、語り部としての活動に役立つ知識や技術を習得することができ、語り部としての資質の向上に寄与した。

令和4年度語り部養成講座開催実績

- ・開催回数:4回(全5講座)
- ・参加延べ人数:200人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



語り部養成講座の実施状況
(令和4年10月29日)



語り部養成講座の実施状況
(令和4年12月11日)

評価軸3-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
伝統行事担い手支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和6年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	祭りなどの伝統行事の継続に苦慮している地域において人材の確保を図るため、地域内外から伝統行事の担い手として高い志を持った人を募り、伝統行事の実施者と支援希望者をマッチングさせるための人材登録・斡旋を目的とした仕組みの構築及び組織化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
飛騨高山移住者ネットワーク「ツラッテ」が実施している交流会において、高山祭に関する講話や祭の準備(屋台やわい)の様子の見学会を実施した。また、高山市立西小学校が社会科の授業で行った高山祭の学習の成果を市役所ロビーで展示する等、担い手の確保に関わる伝統行事への興味・関心の醸成に努めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、祭等の伝統行事関係者との意見交換や他地域の事例の収集等を行いながら、より効果的な対応策を検討する。		
状況を示す写真や資料等			
			
飛騨高山移住者ネットワーク「ツラッテ」交流会での講話・屋台やわい見学の様子(令和4年9月25日)			
			
『残したいもの 伝えたいもの』 ～社会科の授業で学んだことをポスターで発信！～ の展示の様子(令和5年2月21日)			

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況
文化遺産・地域資源活用調査事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業

計画に記載している内容
 高山祭の屋台は、国指定文化財の23台(山王祭、八幡祭)、県指定文化財の2台(飛騨総社、東山白山神社)が現存しているが、かつては更に多くの屋台が存在していたことが知られている。また、旧町村地域にも現在は使われなくなった屋台が蔵に保管されているほか、詳細な調査が行われていない地域資源も存在している。これらの文化遺産等について、現存する資料の把握や現地調査、聞き取り等により、その歴史的経緯や現状について調査を行い、保存・復刻・活用等を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

調査成果(報告書等)を市のホームページで公開する等普及に努めた。調査成果をもとにした保存・活用等については、地元への説明会の開催や関係者との意見交換を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

祭屋台の保存・復刻調査の結果について、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑みながら地元説明会を開催する。

状況を示す写真や資料等



調査成果を市のホームページで公開(一部抜粋)

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
町並み歩行空間創出事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成29年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区及びその周辺の通りにおいて、景観に配慮した舗装・側溝の整備による美化や、外縁部の駐車場からの誘導ルートとなる人道橋の新設などを行う。

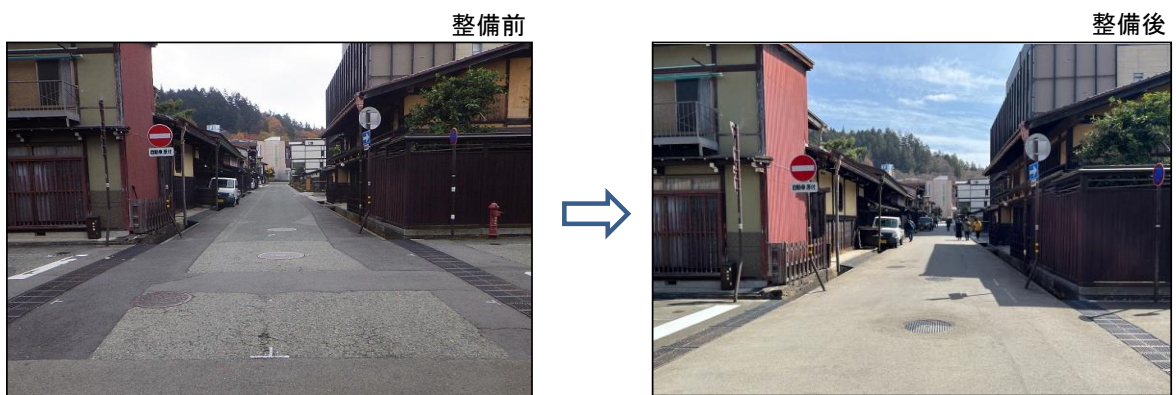
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道上二之町大新町線において、景観配慮型の舗装整備を行ったことにより、町並み景観と調和した、潤いのある歩行空間が創出された。
令和4年度実績
 ・市道上二之町大新町線修景整備(舗装修繕 施工延長L=118m)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



景観配慮型舗装整備の例(市道上二之町大新町線)

景観に配慮した舗装を実施した

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
スポット整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～令和6年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金〈街なみ環境整備事業〉

計画に記載している内容 観光客等が楽しく快適にまちを巡ることができる歩行空間を創出するため、主な動線にまちかどスポット(お休み処)を整備する。整備においては、景観に配慮したベンチや植栽等の配置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

スポット整備はこれまでに多数行っており、市民や観光客の憩いの場として親しまれている。令和4年度はこれまで整備してきたスポットの修繕等維持管理により、景観への配慮及び多くの人に親しまれるスポット整備に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



スポットの利用状況

市民や観光客が休憩、交流する場として利用されている

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
まちなかの博物館外国語対応事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和6年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 外国人観光客の増加に伴い、外国人観光客が多く立ち寄る飛騨高山まちなかの博物館において、展示物の説明表示を多言語化するるとともに、外国語で展示内容や高山の歴史文化を説明できるガイドを養成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光庁の「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」を受け、展示室の一部のテーマ解説文の中国語訳を実施した。地域通訳案内士にまちなかの博物館主催「語り部養成講座」への参加を呼びかけ、参加いただいた。「語り部養成講座」への参加により、外国人へのガイドを行う際に必要な高山の歴史・文化についての具体的な知識や手法について習得することができ、ガイドの資質向上に寄与した。

□令和4年度実績

- ・「語り部養成講座」への地域通訳案内士の参加:延べ5名
- ・博物館正面入り口に外国人来館者向けの案内板を設置

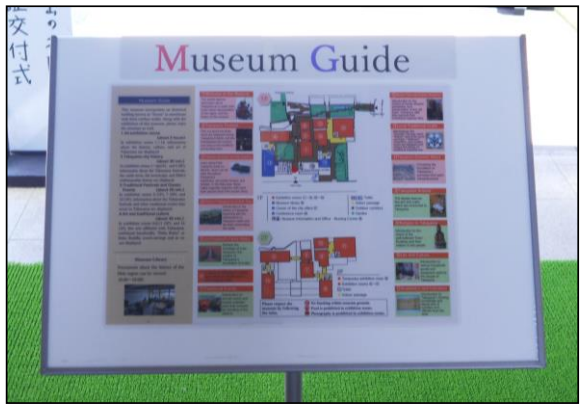
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



地域通訳案内士が参加した「語り部養成講座」の様子 (令和4年11月20日)



正面入り口に設置した外国人来館者向けの案内板

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の指定等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 未指定の文化財については、調査・研究によりその価値を適切に判断し、新規の指定等を含めて保存・活用に向けた取り組みを行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度は、市の文化財4件を指定解除した。また、市の文化財1件が国の重要文化財として指定された。

□令和4年度実績

- ・国指定:1件 重要文化財(建造物):洲さき(市指定文化財(建造物):洲岬家)
- ・指定解除:4件 市指定天然記念物:赤松の大樹、カスミ桜、ゲンペイコバノミツバツツジ、とちの大木(いずれも滅失による)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



洲さき(令和4年9月20日国重要文化財指定)



赤松の大樹(令和4年7月29日指定解除)



カスミ桜(令和4年7月29日指定解除)



ゲンペイコバノミツバツツジ
(令和4年7月29日指定解除)



とちの大木(令和5年2月28日指定解除)

評価軸4-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度
		現在の状況
文化財の修理事業、周辺環境の整備事業等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 指定等文化財については、適切な保存が図られるよう計画的に修理を実施する。文化財指定建造物のほとんどが木造であり、火災や地震に対し脆弱であるため、火災報知設備の設置や耐震対策を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定文化財「旧高山町役場」(高山市政記念館)と県指定文化財「旧野首家住宅」において修理や防災対策を実施することにより、適切な保存を図ることができた。工事中には現場見学会を実施することで、貴重な建築技術を学ぶ場を提供し、文化財保護の意識涵養につながった。

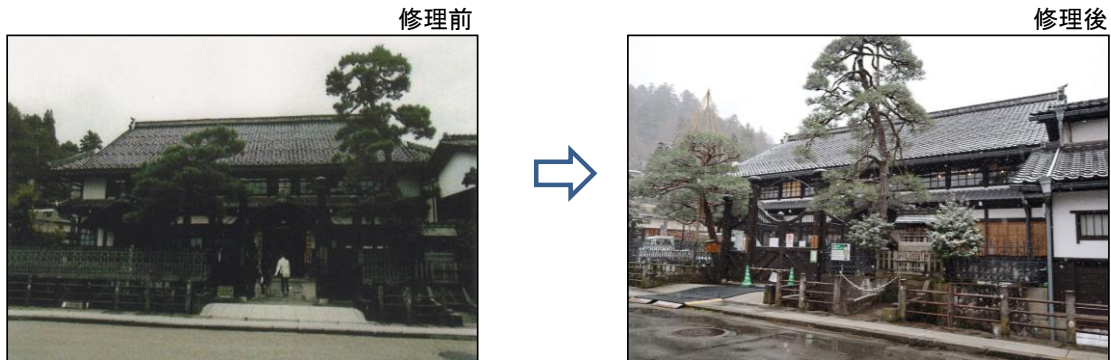
令和4年度実績

・指定文化財の保存修理事業:2件 ※市指定(伝建地区特定物件):旧高山町役場、県指定:旧野首家住宅

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



旧高山町役場(高山市政記念館)



旧野首家住宅



現場見学・左官体験会(旧高山町役場)の様子
高山工業高校 建築インテリア工学科(令和4年11月)



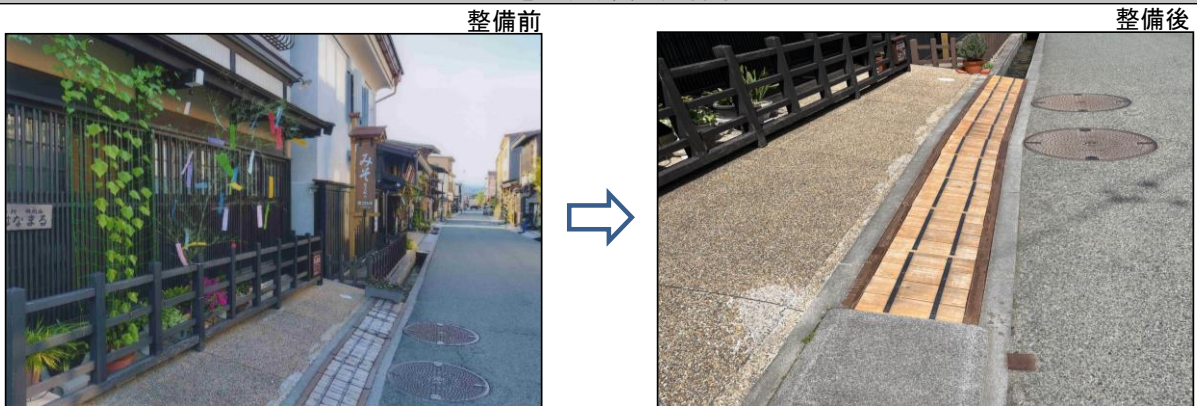
現場見学会(旧野首家住宅)の様子(令和4年11月)

評価軸4-1

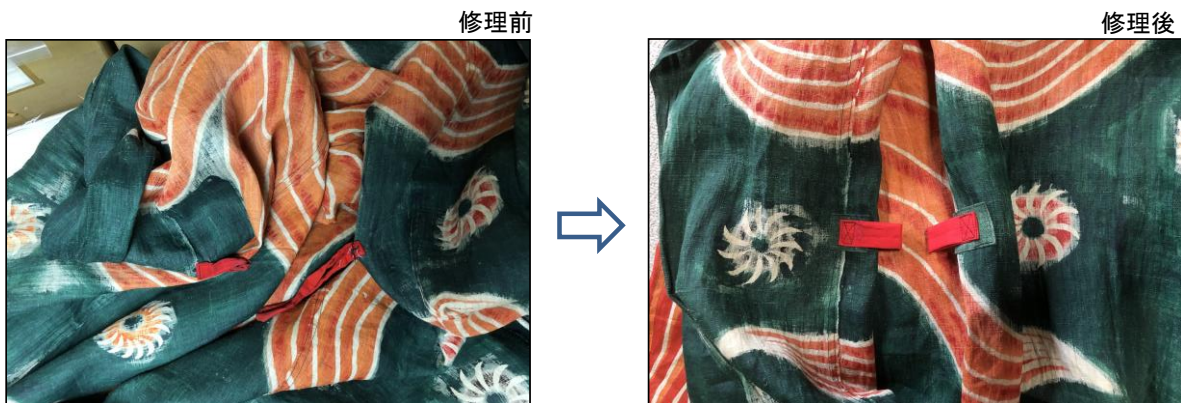
文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目			現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組等			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	飛騨高山まちの博物館については、市の歴史民俗資料の保存活用の中心施設として、郷土教育や伝統文化の継承の場としても活用を図っていく。 文化財に関する講座の開催や出前講座の開催等、文化財の保存及び活用に関する普及啓発を、様々な機会を使って実施する。 町並み保存団体、屋台組をはじめとする文化財を保存・活用する各種団体については、活動への助成、情報提供、研修等を通じて組織の維持と活性化を支援していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
飛騨高山まちの博物館において、特別展を年4回開催した。来館者は、新型コロナウイルス感染症の拡大前よりも減少したが、趣向を凝らした展示で来館者に高山の歴史や文化にふれていただく機会を提供し、昨年度よりも増加した。 <input type="checkbox"/> 令和4年度実績 ・飛騨高山まちの博物館利用者数:157,747人 ※令和3年度:101,283人 景観町並保存会や高山祭の屋台を保存する団体、地域の伝承芸能や文化財の保存団体に対して活動助成を行った。 <input type="checkbox"/> 令和4年度実績 ・景観町並保存会に対する補助金:20団体 ・高山祭の祭礼復興に対する補助金:1団体 ・指定文化財保存会に対する補助金:5団体 ・史跡保存会に対する補助金:12団体 高山市景観町並保存連合会の3つの専門部会において、例年、市と連携して事業を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症のため予定どおりの活動ができなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



景観町並保存会が実施した伝統的建造物群保存地区内での側溝蓋の整備



祭礼復興事業で修理した獅子舞の油単

評価軸5-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和4年度
飛騨高山にぎわい交流館・大政 市が本町4に整備し11日に供用	令和4年4月8日	高山市民時報
情報発信と集いの場開館 高山の「大政」テークカット	令和4年4月12日	岐阜新聞
古い町並み 屋台曳行 春の高山祭 最終日	令和4年4月16日	中日新聞
屋台繰り出し見物客魅了 からくり奉納、伝統に触れる	令和4年4月16日	岐阜新聞
車田 新緑の輪 高山市 法被姿で手植え	令和4年5月16日	岐阜新聞
高山の「洲さき」重文へ 文化審答申「地方的特色 顕著」	令和4年5月21日	毎日新聞
料亭「洲さき」の国重文指定を祝い恵比寿台が獅子舞先導で曳行	令和4年7月25日	高山市民時報
高山の老舗料亭「洲さき」国重文に 屋台と獅子舞が指定祝う	令和4年7月26日	中日新聞
中世飛騨の資料を展示 まちの博物館 獅子頭など129点	令和4年8月18日	中日新聞
恵比須台140年ぶり大改修	令和4年8月21日	岐阜新聞
車田でまあるく稲刈り	令和4年9月27日	中日新聞
高山祭 つなぐ新曲 大八台、コロナ禍に発案	令和4年10月8日	岐阜新聞
秋本番 3年ぶり絢爛 高山祭	令和4年10月10日	中日新聞
高山祭 もっと身近に 囃子クラブ児童 屋台前で練習	令和4年11月19日	中日新聞
文化庁から指定書届く 料亭「洲さき」3棟 国の重要文化財に	令和4年11月25日	中日新聞
江名子バンドリ(高山市) 名産の伝統両具 存続危機	令和4年11月27日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新型コロナウイルス感染症の拡大以降、高山祭は規模を縮小しての開催を余儀なくされていたが、令和4年度は屋台の曳行や曳き揃えが行われ、多くの観光客が訪れた。また、住民の町並み形成活動や交流等の拠点となる飛騨高山にぎわい交流館「大政」を令和4年4月に供用開始したほか、7月には料亭「洲さき」が国の重要文化財に指定されることを祝って地域を挙げての催しが開かれた。このような活動が報道されることで、住民の地域活動に対する関心がより一層高まるとともに、地域の文化に対する誇りの醸成に繋がった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



市民時報より(令和4年4月8日)



「洲さき」国重文指定を祝う催しの様子 (令和4年7月25日)

評価軸6-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和4年度

項目

観光客等の回遊性の向上

計画に記載している内容 道路の美装化や新たな歩行動線の確保、交通体系の見直しによる良好な歩行空間の創出により、市街地における観光客の回遊性の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

観光客の総数が新型コロナウイルス感染症の拡大前まで戻らない中、来訪回数を5回以上とする観光客の割合が増加した。この結果から、遠方への旅行が制限される中で高山市が旅行先として何度も選ばれていると考えられる。

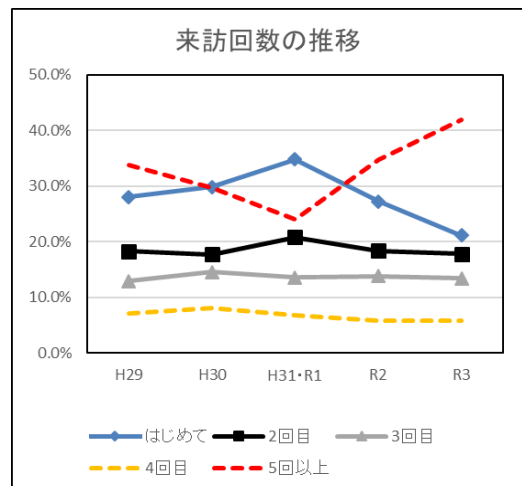
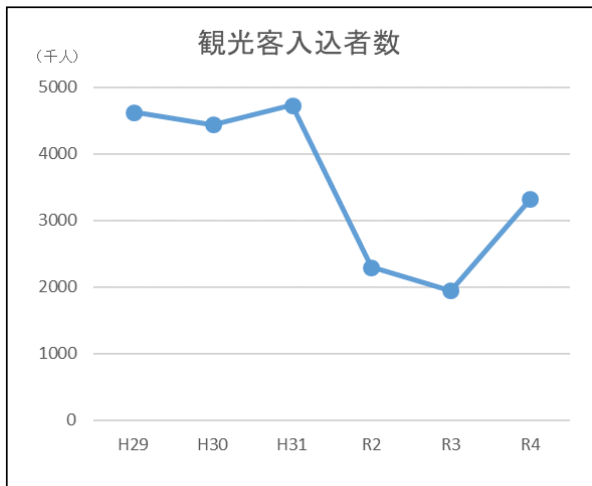
このような中、AIによる行神橋人流測定結果のうち、観光シーズンの8月と秋祭の10月を含む期間のデータを見ると、双方向の人の流れに大きな差はなく、飛騨高山にぎわい交流館「大政」と行神橋を経由してまちを行き来している様子が分かる。

また、飛騨高山にぎわい交流館「大政」から離れた飛騨高山まちの博物館の利用者数も増加していることから、施設の整備等を契機として、何度も来られている来訪者がより広い範囲で回遊する動きが新たにできたとも考えられる。

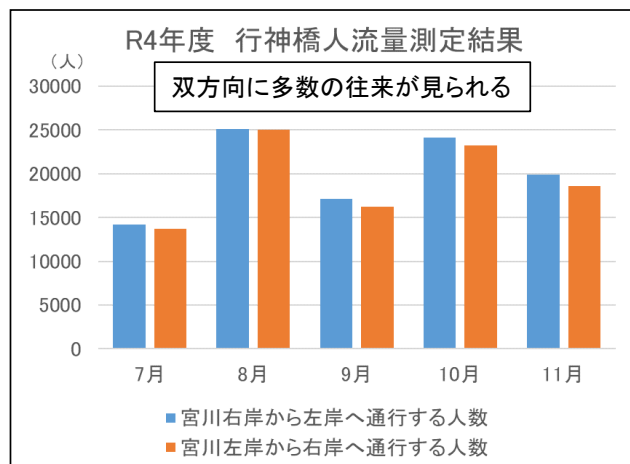
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



高山市観光統計より



高山市調査による

評価対象年度	令和4年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 高山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和5年5月9日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的町並保存事業について、修理の際にベンガラが塗られていると思うが、これは昔に塗られていたものなのか。それぞれが好き勝手に塗るとそういった建物が目立ってしまう。ただ、統一しすぎないことでリズム感が生まれ、景色として良いこともあると思う。難しいことだが、景観計画で固めてしまわなくても良いので少し検討してほしい。 ・4ページの上段の写真の注釈について、「修理」と書くと修理前から変化した点の理由が知りたくなるので、「修理・復原」としてほしい。 ・無電柱化等事業について、高さのある地上機器によって困われた空間という感じが出てきて良い。駅前についてもいつになるかと待っている状態。 ・文化財の修理等における現場見学会については、あまり知られていないと感じる。報道等で発信することで励みになるのではないか。広報等の公的な媒体で発信しても良いのではないか。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的町並保存事業について、写真の建物については、塗料の成分を科学的に分析し、ベンガラが塗られていることを確認した。様々な根拠に基づきながら、高山本来の色をしっかりと残せるように取り組む。 ・4ページの該当写真の注釈を「修理」から「修理・復原」に修正した。 ・市道上一之町花里線の無電柱化事業については、引き続き完成に向けて取り組む。 ・文化財の修理等における現場見学会については、公的な媒体での発信も含め、PRに取り組んでいきたい。 	